

【教育目標】英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに



# 中野だより

平成30年11月27日発行 第7号 発行者:中野区立中野中学校

## 2018 新語・流行語大賞候補から

今年も残すところ1ヶ月余。先日、今年1年間の世相を反映し多くの人々の話題に上った2018新語・流行語大賞候補30語が発表された。

平昌冬季五輪のカーリング女子の「そだねー」や「もぐもぐタイム」、夏の甲子園大会での「金足農旋風」、サッカーワールドカップから「(大迫)半端ないって」、そして大リーグ・エンゼルスに移籍した大谷翔平選手の「翔タイム」などスポーツにまつわる新語・流行語が個人的に気になっている。今回は、その中の「翔タイム」にちなんだ話。

大谷選手が大リーグの新人王に選ばれた。開幕前は不調が続き、「高校生レベル」と酷評されたが、シーズンが開幕すると投手では初登板初勝利、打者では3試合連続本塁打を記録するなど投打にわたって活躍する「二刀流」は米球界に大きな衝撃を与え、米メディアは大谷選手の活躍を「Sho Time (翔タイム)」と呼んだ。

大谷選手は、今年一番の思い出として本拠地の初打席で初ホームランを放った時のことを挙げた。意気揚揚とダイヤモンドを1周してベンチに戻ったが、仲間から「無視」をされる。一瞬戸惑いながらも遠慮がちに仲間に祝福を“おねだり”すると、今度はチームメイト全員にもみくちやにされ、手荒い祝福を受けた。新人王受賞のインタビューで、「初本塁打はうれしかったですし、ベンチに帰ってからも無視されて楽しかった」と印象深い様子で話していた。

大谷選手が一番の思い出として挙げた「無視」は、「サイレント・トリートメント」と呼ばれ、新人選手が初ホームランを打った時に仲間が仕掛ける大リーグ固有の歓迎儀式である。とは言え、「無視」という行為を肯定するものではない。「無視」はされる人にとっては心穏やかではない。そもそも「無視」は、存在するものの価値や意義を認めないこと、或いは、存在しても存在しないように扱うことである。人間社会の中でも、学校の中でも受け入れられない行為である。

「無視」の反対語は何か。価値あるものとして、大切に思い、大切に扱うことを意味する言葉。それは「尊重」である。代表的な使われ方として「人権を尊重する」が挙げられる。こちらは、社会の中でも、学校の中でも、もっともっと実践されていく必要がある。我が国は、来週12月4日からは人権週間となる。

硬い内容になってしまった。話を新語・流行語大賞に戻すと、「ポーッと生きてんじゃねーよ！」もノミネートされている。NHKのクイズ番組『チョコちゃんに叱られる』の中で、5歳の女の子「チョコちゃん」が、「いってらっしゃーいってお別れするとき、手を振るのはなぜ？」とか、「学校に夏休みがあるのはなぜ？」というような素朴な疑問を回答者に投げかける。それに答えられないと、チョコちゃんに「ポーッと生きてんじゃねーよ！」と叱られる。先日は、「校長先生の話が長いのはなぜ？」という質問があった。正解は各々で調べていただくことにして、私はチョコちゃんに叱られないよう、中野中生が校長の話長く感じないよう努めることを決意し、11月の巻頭言としたい。

# 東北復興大祭典 平和の森小学校児童と合唱

10月27日(土)、中野サンプラザ前の特設ステージで東北復興大祭典のオープニングセレモニーが行われ、本校の有志生徒が平和の森小学校児童と一緒に「花は咲く」等の合唱を行いました。



東北の復興を願って奏でる「花は咲く」の合唱に涙を浮かべて聴き入っている方がいらっしやいました。宮城県からお越しになられた方のように。

有志の皆さん。あなたたちの合唱は、被災地の方々の心にしっかり届きましたよ。お疲れ様でした。

## 食育講演会を実施



11月10日(土)、オリンピック・パラリンピック教育の一つとして、管理栄養士で日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士の松田幸子さんを講師にお迎えし、「2020年、あなたは何をしていますか?～食から叶える夢と未来～」をテーマに食育講演会を実施しました。

今の講演会では、日々の食事が将来の夢をかなえるための大切な土台となり、1食でもおろそかにしてはいけないということを熱く語っていただきました。

講演会后、生徒は各教室で感想を書きました。

今日のこの時間で夢をかなえるためには体調を整えることが大事であることが分かった。栄養をたくさん摂っても、蓄積する量が限られているため、毎日、少しずつ「捕食」を入れていきたいと思います。(1年B組 小森 勇凜)

## 給食コンクールを実施

健康委員会主催による「第2回給食コンクール」が2週間にわたり実施され、期間中、全校で給食準備の時間短縮や給食残食の削減に取り組みました。

11月26日(月)の生徒会朝礼でコンクールで学年1位になった優秀クラスには賞状が授与されました。また、健康委員会委員長藤平詩音君より次頁の話がありました。

本日の給食の残ッ

	パン・トースト	牛乳	秋野菜のシチュー	シーフード入り緑豆野菜	花みかん
1-A	0	0	1k	0.06k	0
1-B	0	0	0.7k	0	0
1-C	0	0	4k	0.2	0
1-D	0	0	0	0	0
2-A	0	0	0	0	0
2-B	0	0.1g	0.5k	0	0.03k
2-C	0	0	0	0	0
2-D	0.05k	0.6g	1.8k	0.2	0.03k
3-A	0.05k	0.2g	1k	0.2	0
3-B	0.3k	0.4g	0.4k	0.08k	0.09k
3-C	0	0	2.4k	0	0
3-D	0	0	0	0	0

<優秀クラス>

1年B組、2年C組、3年C組・D組

11月5日から16日まで行った給食コンクールでは、どのクラスも良く食べて、配膳の取り掛りも早くなりました。期間中の1日の残食量は約10kgで、通常の1日平均の3分の1となりました。

苦手な食材や料理が出て、一口でも食べることで体の栄養となり、免疫力が高まります。健康な体でないと、思いっきり運動したり、勉強したりすることができません。元気な体をつくるためにも、苦手な食材でも一口だけでもチャレンジし、できるだけ「決められた一人分量」を残さず食べることを心がけましょう。

給食室では「食缶が空になって返ってきて嬉しい」「朝早くから頑張って作って良かった」「もっと良いものを作ろう」などの喜びの声が上がっていたそうです。

キャンペーンが終わっても、この習慣を続けてください。

## 留学生との交流

11月8日(木)、本校3学年では早稲田大学の留学生による出前授業を実施しました。この出前授業は、本校の新校舎が完成し、また、早稲田大学中野校が開校した平成26年の翌年から「国際理解教育」の一環として行われているものです。4年目となる今年は、韓国、香港、台湾、アメリカ、インドネシア、タイ、フランス、スペイン、ベラルーシ、ドイツ、オランダからの留学生とスタッフの総勢16名が来校し、授業を行っていただきました。



昨年引き続き、今年も参加して下さった留学生もいらっしゃいました。

中野中生は、当日は留学生のお国のこと、留学生が日本の大学に留学した目的、留学生の将来の夢などを窺ったことにより異国の文化を学び、国際社会へ目を向ける良い機会となりました。

出前授業の最後は、留学生を囲んで記念撮影を行いました。

## 職場体験学習を実施

第2学年は、11月7日(水)～11月9日(金)の3日間、都内44の事業所で職場体験を行いました。生徒はマナー講習会や事前訪問などの準備をして、職場体験に臨みました。本体験を通じて、働くことの厳しさや喜びを実感した生徒も多く、普段の学校の授業では経験できない貴重な体験をすることができました。12月にはまとめの発表会を行います。良い発表会になることを期待しています。

本校生徒を受け入れて下さった事業所に心から感謝申し上げます。



セブンイレブン



ゴールドジム



中野警察署

## 【職場体験を受け入れてくださった44の事業所】

店 名		店 名	
1	ライフ 中野駅前店	23	徳育幼稚園
2	セブンイレブン中野桃園店	24	昭和保育園
3	鈴テツ (八百屋)	25	あさひ保育園
4	洋服の青山 中野本店	26	中野区立平和の森小学校
5	明屋書店 東京中野店	27	橋場そらとみどりの保育園
6	BOOKOFF PLUS 荻窪駅北口店	28	中野区立桃花小学校
7	(株)ラケットショップフジ	29	アスモ
8	ペットのコジマ	30	デイサービス あずみ苑
9	デニーズ中野坂上店	31	中野税務署
10	スターバックスコーヒー新宿南口店	32	都庁青少年・治安対策本部青少年課
11	バパブプレ中野店	33	教育庁指導部義務教育指導課
12	パティスリーレザネフォール 中野店	34	中野区立中央図書館
13	大成食品株式会社	35	歴史民俗資料館
14	花工場	36	野方警察署
15	EARTH(アース)	37	野方消防署
16	東京警察病院	38	中野警察署
17	中野共立病院	39	みずほ銀行 中野北口支店
18	なごみ薬局	40	南部コミュニティセンター
19	TAC サンプラザスポーツスペース	41	野方児童館
20	ゴールドジムウエストウエスト Tokyo	42	中野郵便局
21	ゴールドジム 東中野東京店	43	宮園オート株式会社
22	サンプラザボール	44	JR 中野駅

## <表彰>

### ○ 中野区中学校秋季卓球大会

・男子の部

団 体 第3位  
シングルス 第3位 古谷 直樹  
第5位 漆原 明

・女子の部

シングルス 第1位 岸 小都美  
第5位 森 月花

## ワイヤレスアンプ寄贈される

東京中野ライオンズクラブから学校教育の伸展に役立ててほしい、との理由でワイヤレスアンプとマイク2本の寄贈がありました。

アンプは最新型で音質も良く、チューナーが2個設置されているために周波数の異なる2本のマイクを同時に使用できる優れたものです。教職員には11月15日の朝に紹介いたしました。この場を借りて改めて紹介させていただくと共に、東京中野ライオンズクラブに感謝申し上げます。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

